

自治体排出量カルテ 目次

福岡県

項目	表示形式	対象年度	具体内容
自治体排出量カルテ① CO ₂ 排出量の現状把握			
○地方公共団体の部門・分野別CO ₂ 排出量（標準的手法）			
1) 部門・分野別CO ₂ 排出量構成比 平成17年度（2005年度）	円グラフ	2005年度	・標準的手法に基づくCO ₂ 排出量推計データの部門・分野別排出量を集計
2) 部門・分野別CO ₂ 排出量構成比 平成25年度（2013年度）	円グラフ	2013年度	・標準的手法に基づくCO ₂ 排出量推計データの部門・分野別排出量を集計
3) 部門・分野別CO ₂ 排出量構成比 令和4年度（2022年度）	円グラフ	2022年度	・標準的手法に基づくCO ₂ 排出量推計データの部門・分野別排出量を集計
4) 部門・分野別CO ₂ 排出量の推移	横上げ縦棒グラフ	2009～2022年度	・2009年度以降の部門・分野別CO ₂ 排出量の推移
5) 部門・分野別CO ₂ 排出量構成比の比較（都道府県平均及び全国平均）	100%横上げ横棒グラフ	2022年度	・地方公共団体と該当都道府県平均、全国平均の部門・分野別のCO ₂ 排出量構成比の比較

自治体排出量カルテ② 活動量の現状把握			
○地方公共団体の活動量			
1) 部門・分野別指標の推移（廃棄物分野のみCO ₂ 排出量の推移）	折れ線グラフ・縦棒グラフ	2009～2022年度	・標準的手法の部門・分野別の活動量の推移

自治体排出量カルテ③ 特定事業所の温室効果ガス排出量の現状把握			
1 地方公共団体の特定事業所排出量			
1) 特定事業所の部門別排出量（令和3年度）	円グラフ	2021年度	・特定事業所の部門別排出量構成比
2) 特定事業所の部門別排出量の推移	横上げ縦棒グラフ	2011～2021年度	・2011年度以降の特定事業所の部門別排出量の推移
3) 特定事業所のガス種別排出量（令和3年度）	円グラフ	2021年度	・特定事業所のガス種別排出量構成比
4) 特定事業所のガス種別排出量の推移	横上げ縦棒グラフ	2011～2021年度	・2011年度以降の特定事業所のガス種別排出量の推移
5) 業種別の特定事業所の事業所数及び排出量（令和3年度）	横棒グラフ	2021年度	・特定事業所の業種別事業所数及び排出量
2 地方公共団体の区域のCO ₂ 排出量との比較			
6) 区域のCO ₂ 排出量の推移及び特定事業所排出量のカバー率の推移	横上げ縦棒・折れ線グラフ	2011～2021年度	・区域の産業部門・業務その他部門の排出量の推移と特定事業所排出量が占める割合（カバー率）の推移
3 全国の1事業所当たりの排出傾向との比較			
7) 1事業所当たりの排出傾向（全国平均値との比較）（令和3年度）	横棒グラフ	2021年度	・特定事業所1事業所当たりの排出量の全国平均との比較

自治体排出量カルテ④ 地方公共団体の再生可能エネルギー導入状況及び導入ポテンシャルの現状把握			
1 地方公共団体のFIT・FIP制度による再生可能エネルギー（電気）			
1) 区域の再生可能エネルギーの導入設備容量（令和5年度）	円グラフ	2023年度	・FIT・FIP公表情報の再生可能エネルギーの設備別の導入状況（導入設備容量）
2) 区域の再生可能エネルギーによる発電電力量（令和5年度）	円グラフ	2023年度	・FIT・FIP公表情報の再生可能エネルギーの設備別の導入状況（発電電力量）
3) 区域の再生可能エネルギーの導入設備容量の推移（累積）	横上げ縦棒・折れ線グラフ	2015～2023年度	・FIT・FIP公表情報の再生可能エネルギーの設備別導入設備容量の推移と区域の電気使用量に対するFIT・FIP太陽光導入比の推移
4) 区域の太陽光発電（10kW未満）設備の導入件数の推移（累積）	縦棒グラフ	2015～2023年度	・FIT・FIP公表情報の太陽光（10kW未満）の導入件数の推移
2 地方公共団体の再生可能エネルギーの導入ポテンシャル			
5) 導入ポテンシャル（電気のみ・設備容量）	円グラフ	2024年11月末時点	・REPOSの再エネ導入ポテンシャル（電気のみ・設備容量）
6) 導入ポテンシャル（発電電力量・利用可能熱量）	円グラフ	2024年11月末時点	・REPOSの再エネ導入ポテンシャル（発電電力量・利用可能熱量）
3 区域のエネルギー消費量及び再生可能エネルギー導入ポテンシャル・導入量の比較（電気）			
7) 区域内のエネルギー消費量に対する再エネ導入ポテンシャル（電気）	縦棒グラフ	2023年度	・区域の電気使用量に対する再エネ導入量、再エネ導入ポテンシャルの比較 ※区域の電気使用量は2022年度で代用
8) 区域内の再エネ導入ポテンシャルと再エネ導入量（電気）	縦棒グラフ	2023年度	・再エネ種別の再エネ導入ポテンシャルに対する再エネ導入量の比較

※人口が同程度の他の地方公共団体との排出量の比較シート、他の地方公共団体との再エネ導入量や再エネポテンシャルの比較シート、特定事業所集計表シートも付録しています。

自治体排出量カルテ 他の地方公共団体との比較（部門・分野別排出量）			
1 部門・分野別排出量の比較（標準的手法）（令和3年度（2021年度））			
1) 部門・分野別CO ₂ 排出量の比較	横上げ横棒グラフ	2021年度	・標準的手法に基づく区域の部門・分野別CO ₂ 排出量を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較
2) 部門・分野別CO ₂ 排出量構成比の比較	100%横上げ横棒グラフ	2021年度	・標準的手法に基づく区域の部門・分野別CO ₂ 排出量構成比を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較
2 区域の排出量に占める特定事業所排出量比率の比較（令和3年度（2021年度））			
3) 産業部門	横棒グラフ	2021年度	・標準的手法に基づく区域の産業部門排出量に対し特定事業所排出量が占める割合（カバー率）を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較
4) 業務その他部門	横棒グラフ	2021年度	・標準的手法に基づく区域の業務その他部門排出量に対し特定事業所排出量が占める割合（カバー率）を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較
3 特定事業所排出量の比較（令和3年度（2021年度））			
5) 特定事業所排出量の比較	横上げ横棒グラフ	2021年度	・特定事業所排出量を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較
6) 特定事業所数の比較	横上げ横棒グラフ	2021年度	・特定事業所数を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較
7) 特定事業所排出量の部門別構成比の比較	100%横上げ横棒グラフ	2021年度	・特定事業所排出量の部門別構成比を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較

自治体排出量カルテ 他の地方公共団体との比較（再エネ導入量・再エネポテンシャル）			
1 再エネ導入量の比較（令和5年度（2023年度））			
1) 他の地方公共団体との再エネ別導入設備容量の比較	横上げ横棒グラフ	2023年度	・再エネ別導入設備容量を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較
2) 他の地方公共団体との再エネ別発電電力量の比較	横上げ横棒グラフ	2023年度	・再エネ別発電電力量を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較
3) 他の地方公共団体との対電気使用量FIT・FIP導入比の比較	横上げ横棒グラフ	2023年度	・対電気使用量FIT・FIP導入比を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較 ※区域の電気使用量は2022年度で代用
4) 対世帯数FIT・FIP太陽光発電（10kW未満）導入比の比較	横棒グラフ	2023年度	・対世帯数FIT・FIP太陽光発電（10kW未満）導入比を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較 ※世帯数は2022年度で代用
2 再エネ導入ポテンシャルの比較			
5) 同一都道府県内における他の地方公共団体の再エネポテンシャル（発電電力量）の比較	横上げ横棒グラフ	2024年11月末時点	・他の地方公共団体の再エネポテンシャル（発電電力量）を同一都道府県内で比較
6) 同一都道府県内における他の地方公共団体の電気使用量の比較	横棒グラフ	2024年11月末時点	・他の地方公共団体の電気使用量を同一都道府県内で比較（※2022年度で代用）
7) 同一都道府県内の他の地方公共団体の再エネ不足量・余剰量の比較	横棒グラフ	2024年11月末時点	・他の地方公共団体の再エネ不足量・余剰量を同一都道府県内で比較 ※区域の電気使用量は2022年度で代用

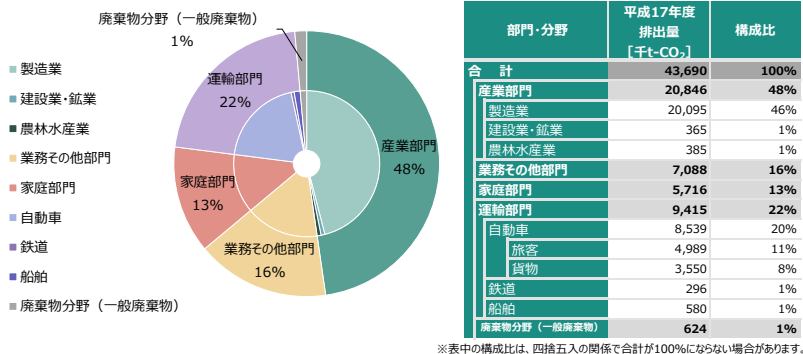
特定事業所集計表シート			
特定事業所集計表			
特定事業所集計表	表	2011～2021年度	・特定事業所の事業所数と排出量の集計表（日本標準産業分類別）

自治体排出量カルテ① CO₂排出量の現状把握

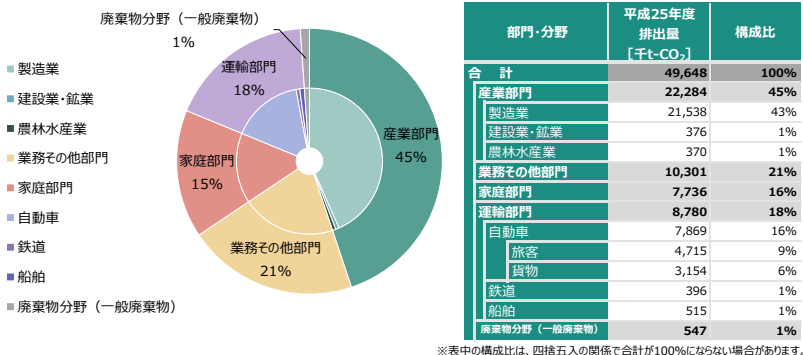
福岡県

○地方公共団体の部門・分野別CO₂排出量（標準的手法）

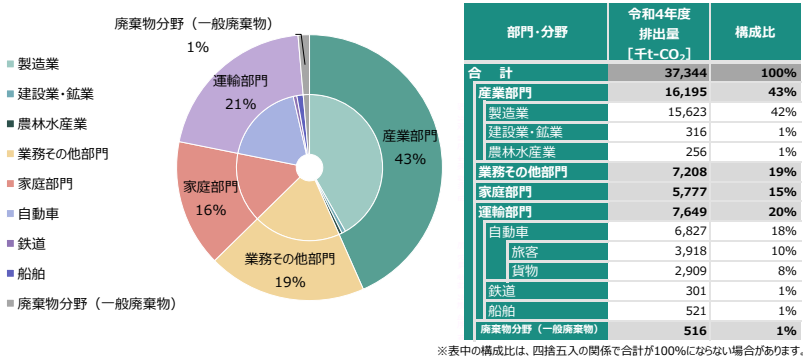
1) 部門・分野別CO₂排出量構成比 平成17年度（2005年度）



2) 部門・分野別CO₂排出量構成比 平成25年度（2013年度）



3) 部門・分野別CO₂排出量構成比 令和4年度（2022年度）



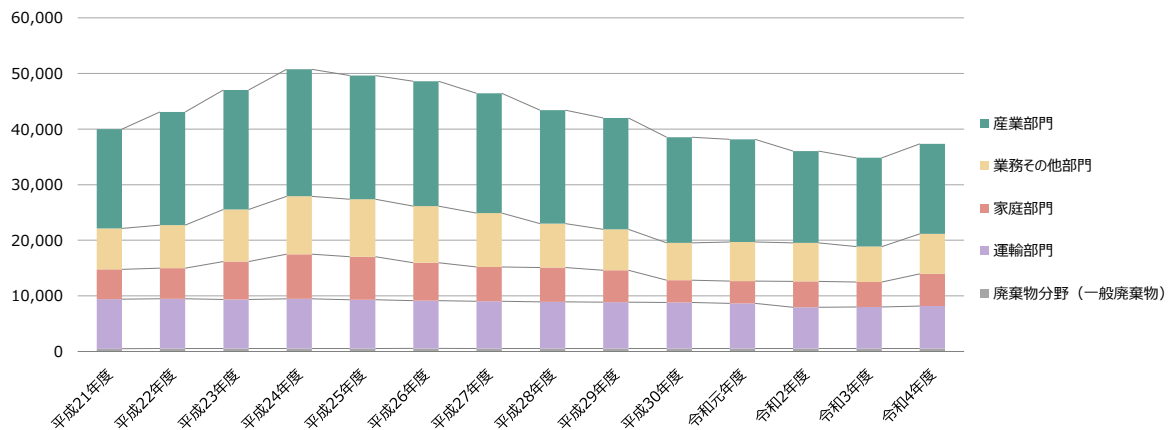
区域のCO₂排出量は、環境省「地方公共団体実行計画（区域施策編）策定・実施マニュアル」の標準的手法に基づき、統計資料の按分により地方公共団体別部門・分野別CO₂排出量を推計した値です。なお、一般廃棄物のCO₂排出量は、一般廃棄物処理実態調査結果の焼却施設ごとの年間処理量等から推計しています。

各地方公共団体の過年度のデータは、地方公共団体実行計画策定・実施支援サイト「部門別CO₂排出量の現状推計（部門別データ）」（https://www.env.go.jp/policy/local_keikaku/tools/suikai2.html）を御参照ください。

本カルテに掲載している推計年度は、地方公共団体実行計画（区域施策編）で地域の温室効果ガス排出量の目標を策定する際に、基準年度や現状年度として選択できます。令和4年度（2022年度）は最新の現状推計年度です。各部門・分野別CO₂排出量構成比を分析することで施策の検討に役立てることができます。

4) 部門・分野別CO₂排出量の推移

[千t-CO₂]

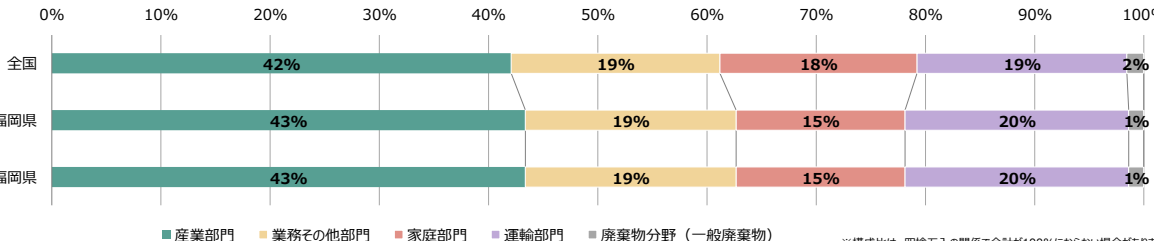


部門・分野		部門・分野別CO ₂ 排出量													
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
合 計		39,968	43,056	47,023	50,739	49,648	48,595	46,405	43,422	41,994	38,542	38,155	36,030	34,822	37,344
産業部門		17,815	20,320	21,501	22,842	22,284	22,484	21,516	20,424	20,014	19,011	18,453	16,483	15,966	16,195
製造業		17,195	19,687	20,641	22,006	21,538	21,733	20,805	19,743	19,326	18,410	17,862	15,858	15,347	15,623
建設業・鉱業		266	298	483	451	376	393	353	343	353	297	283	294	318	316
農林水産業		354	335	376	385	370	358	358	338	336	303	308	332	302	256
業務その他部門		7,363	7,745	9,372	10,397	10,301	10,149	9,712	7,898	7,354	6,710	7,046	6,921	6,368	7,208
家庭部門		5,378	5,511	6,796	8,054	7,736	6,839	6,126	6,157	5,763	4,027	3,995	4,677	4,506	5,777
運輸部門		8,910	8,965	8,841	8,898	8,780	8,567	8,530	8,416	8,339	8,241	8,130	7,417	7,446	7,649
自動車		8,123	8,167	8,000	8,011	7,869	7,676	7,659	7,574	7,516	7,438	7,326	6,647	6,636	6,827
旅客		4,848	4,864	4,820	4,850	4,715	4,527	4,524	4,516	4,477	4,421	4,318	3,802	3,703	3,918
貨物		3,275	3,303	3,180	3,161	3,154	3,149	3,135	3,058	3,039	3,016	3,007	2,845	2,933	2,909
鉄道		294	307	354	389	396	380	372	362	350	325	317	302	298	301
船舶		492	491	487	498	515	511	499	480	473	478	488	468	512	521
廃棄物分野（一般廃棄物）		503	515	513	547	547	555	520	527	525	554	531	532	536	516

※表中の内訳と小計・合計は、四捨五入の関係で一致しない場合があります。

5) 部門・分野別CO₂排出量構成比の比較（都道府県平均及び全国平均）

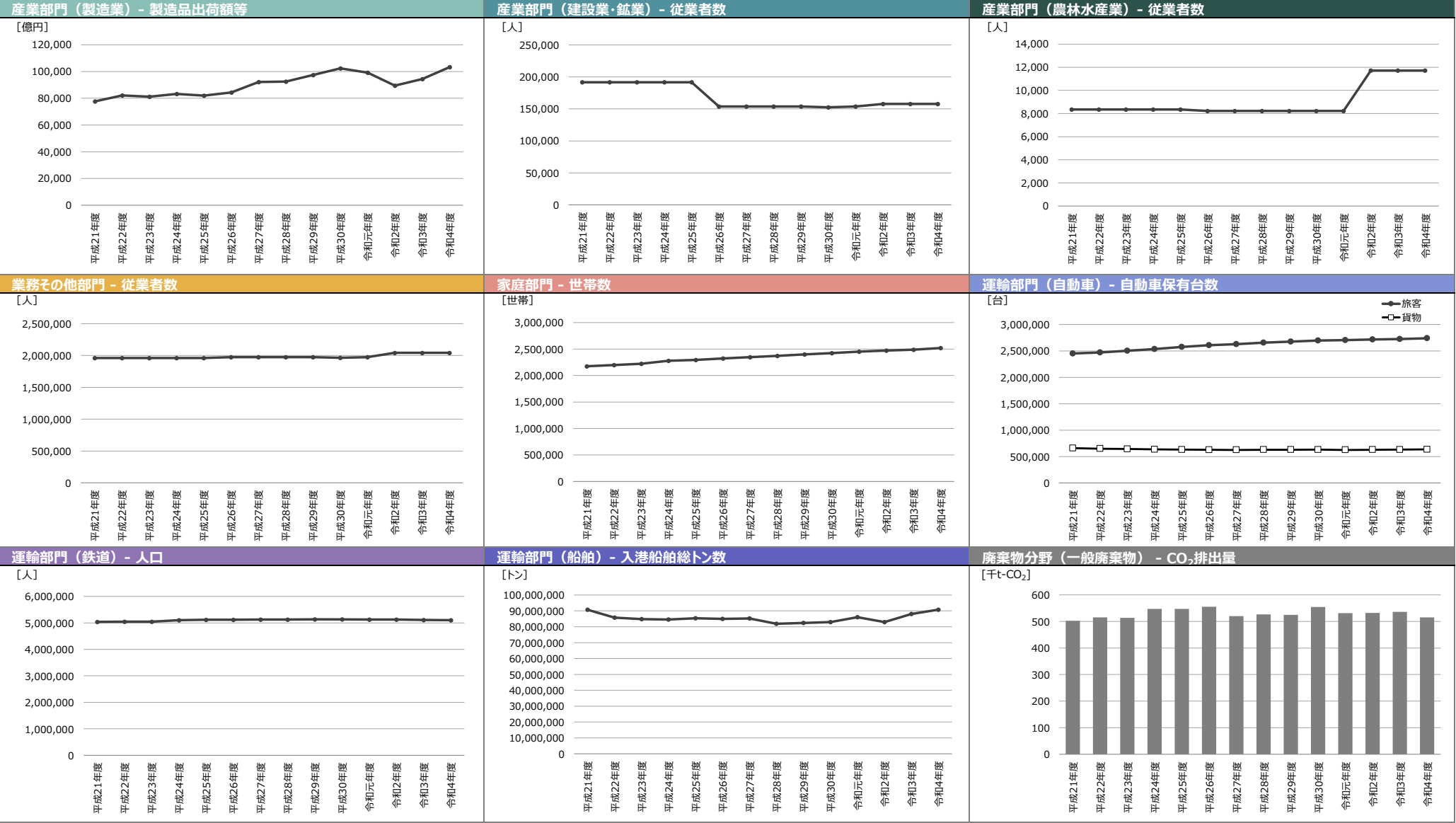
(令和4年度)



※構成比は、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

○地方公共団体の活動量

1) 部門・分野別指標の推移（廃棄物分野のみCO₂排出量の推移）



部門・分野別活動量の推移で示す各指標は、部門・分野別CO₂排出量の推計に用いた按分指標です。それぞれの指標の経年変化を分析することで、CO₂排出量の要因となる活動量がどのように増減しているかを把握することができます。

各指標の引用元は次のとおりです。製造品出荷額等（製造業）：令和元年度までは工業統計調査・令和2年度は経済センサス（活動調査）・令和3年度以降は経済構造実態調査、従業者数（建設業・鉱業、農林水産業、業務その他部門）：令和元年度までは経済センサス（基礎調査）・令和2年度以降は経済センサス（活動調査）、世帯数（家庭部門）：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査、自動車保有台数（運輸部門）：一般財団法人自動車検査登録情報協会「市区町村別自動車保有車両数」及び一般社団法人全国軽自動車協会連合会「市区町村別軽自動車車両数」、人口（鉄道）：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査、入港船舶総トン数（船舶）：港湾統計年報

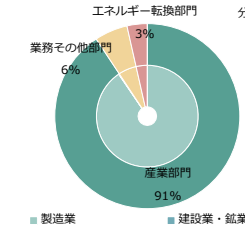
なお、従業者数は経済センサス（基礎調査）を使用し、「平成20年度」、「平成21年度～平成25年度」、「平成26年度～令和元年度」をそれぞれ同じ統計から集計（廃棄物等により数値が同値でない場合もあります）していましたが、令和3年経済センサスからは活動調査で把握されることとなり、令和2年度以降の従業者数は経済センサス（活動調査）から集計しています。廃棄物分野は按分ではなく一般廃棄物処理実態調査結果の焼却施設ごとの年間処理量等から推計しているため、推計したCO₂排出量の推移を掲載しています。

自治体排出量カルテ③ 特定事業所の温室効果ガス排出量の現状把握

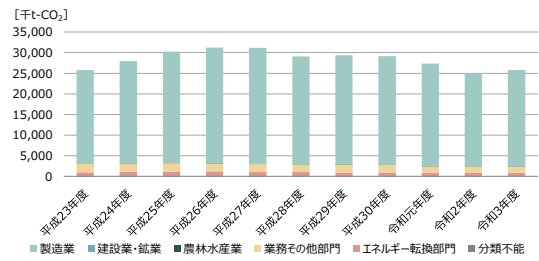
福岡県

1 地方公共団体の特定事業所排出量

1) 特定事業所の部門別排出量
(令和3年度)



2) 特定事業所の部門別排出量の推移

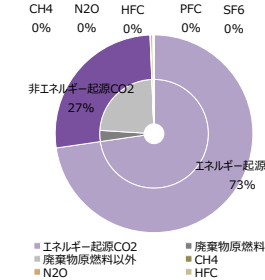


部門	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
合計	25,820	27,967	30,272	31,204	31,185	29,088	29,332	29,123	27,353	24,947	25,767
産業部門	22,800	24,871	27,073	28,087	28,200	26,278	26,468	26,392	24,908	22,525	23,369
製造業	22,745	24,815	26,990	28,015	28,118	26,205	26,399	26,329	24,854	22,468	23,310
建設業・鉱業	27	27	43	44	41	37	36	32	29	30	33
農林水産業	28	30	40	29	41	36	34	31	25	27	27
業務その他部門	2,042	1,985	2,087	1,930	1,916	1,751	1,956	1,891	1,587	1,576	1,487
エネルギー転換部門	972	1,107	1,105	1,181	1,063	1,055	904	835	852	842	911
分類不能	6	4	6	7	5	4	6	6	4	0	0

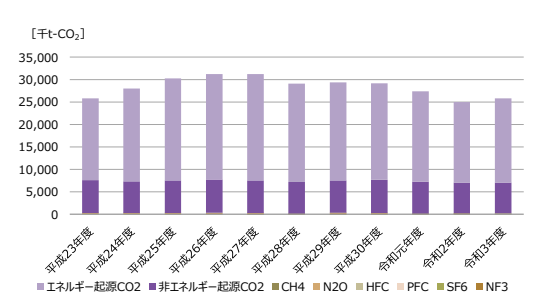
本カルテの「特定事業所」は、多量に温室効果ガスを排出しており、「地球温暖化対策の推進に関する法律」において自らの温室効果ガスの排出量を算定し、国に報告することが義務付けられている事業所を指します。本カルテの特定事業所の部門と日本標準産業分類との対応は以下のとおりです。

- 製造業：E製造業（エネルギー転換部門の細分類除く）
- 建設業・鉱業：C鉱業、採石業、砂利採取業、D建設業
- 農林水産業：A農業、林業、B漁業
- 業務その他部門：F電気・ガス・熱供給・水道業～S公務（エネルギー転換部門の細分類除く）
- エネルギー転換部門：日本標準産業分類の細分類（E製造業の1711：石油精製業、1731：コークス製造業、F電気・ガス・熱供給・水道業の3311：発電所、3312：変電所、3411：ガス製造工場、3511：熱供給業）

3) 特定事業所別のガス種別排出量
(令和3年度)



4) 特定事業所のガス種別排出量の推移



温室効果ガス種	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
合計	25,820	27,967	30,272	31,204	31,185	29,088	29,332	29,123	27,353	24,947	25,767
エネルギー起源CO ₂	18,216	20,624	22,771	23,505	23,658	21,923	21,783	21,504	20,142	17,894	18,734
非エネルギー起源CO ₂	7,319	7,088	7,212	7,406	7,247	7,016	7,228	7,338	7,082	6,872	6,864
産業物原燃料	717	654	688	735	682	763	861	974	824	813	852
産業物原燃料以外	6,601	6,434	6,525	6,671	6,564	6,253	6,367	6,365	6,258	6,059	6,012
CH ₄	36	18	17	13	16	19	26	22	26	21	24
N ₂ O	176	187	212	213	219	71	243	218	68	124	100
HFC	0	0	0	0	0	0	0	0.36	0	0.27	0
PFC	55	43	49	53	36	42	42	28	21	24	30
SF ₆	18	7	10	14	10	17	9	13	13	10	14
NF ₃	0	0	0	0	0.37	0.36	0.39	0.35	0.35	0.36	0

エネルギー起源CO₂以外のガス種の排出源となっている活動を以下に例示します。あくまで、例示のため、詳細は「算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧」を御確認ください。（https://ghg-santeikhohyo.env.go.jp/calc/）

- 非エネルギー起源CO₂
- 産業物原燃料：産業物の焼却のうち産業物が燃料に変わって焼却の用に供される場合(A)及び製品の製造の用途への使用、廃棄物燃料等の使用
- 産業物原燃料以外：産業物の焼却のうち上記(A)を除く場合、原油又は天然ガスの生産、セメントの製造、生石灰の製造 等
- CH₄：燃料の燃焼の用に供する施設及び機械器具における燃料の使用、都市ガスの製造、稲作、廃棄物の埋立処分、工場廃水の処理 等
- N₂O：燃料の燃焼の用に供する施設及び機械器具における燃料の使用、麻酔剤の使用、家畜の排泄物の管理、耕地における肥料の使用 等
- HFC：業務用冷凍空調機器の使用開始におけるHFCの封入、業務用冷凍空調機器の整備におけるHFCの回収及び封入 等
- PFC：アルミニウムの製造、パフルオロカーボン（PFC）の製造、半導体素子等の加工工程でのドライエッチング等におけるPFCの使用 等
- SF₆：マグネシウム合金の鋳造、六ふ化硫黄（SF₆）の製造、変圧器等電気機械器具の製造及び使用の開始におけるSF₆の封入 等
- NF₃：三ふ化窒素（NF₃）の製造、半導体素子等の加工工程でのドライエッチング等におけるNF₃の使用

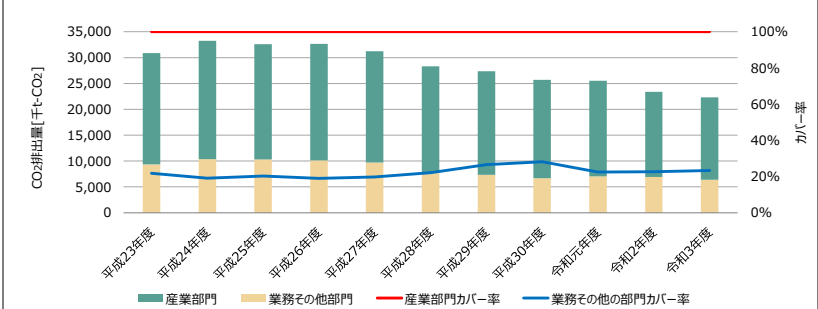
5) 業種別の特定事業所の事業所数及び排出量
(令和3年度)

※排出量は全ての温室効果ガス種を含む合計値です。Nは特定事業所数を示します。



2 地方公共団体の区域のCO₂排出量との比較

6) 区域のCO₂排出量の推移及び特定事業所排出量のカバー率の推移

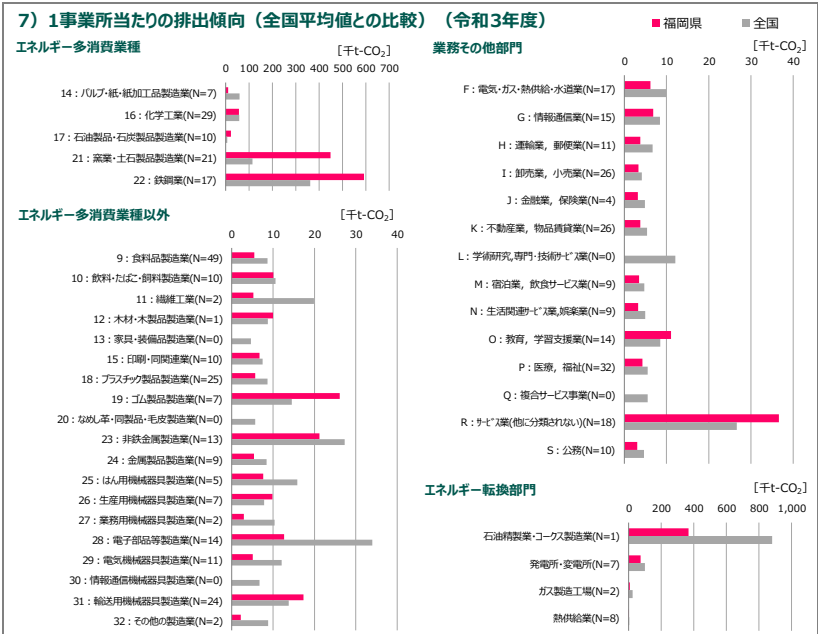


区域のエネルギー起源CO ₂ 排出量	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
部門											
産業・業務部門の合計	30,873	33,240	32,586	32,633	31,228	28,323	27,368	25,720	25,499	23,404	22,334
産業部門	21,501	22,842	22,284	22,484	21,516	20,424	20,014	19,011	18,453	16,483	15,966
製造業	20,641	22,006	21,538	21,733	20,805	19,743	19,326	18,410	17,862	15,858	15,347
建設業・鉱業	483	451	376	393	353	343	353	297	283	294	318
農林水産業	376	385	370	358	358	338	336	303	308	332	302
業務その他部門	9,372	10,397	10,301	10,149	9,712	7,898	7,354	6,710	7,046	6,921	6,368

区域のエネルギー起源CO ₂ 排出量における特定事業所の温室効果ガス排出量のカバー率	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産業・業務部門の合計	80%	81%	89%	92%	96%	99%	100%	100%	100%	100%	100%
産業部門	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
製造業	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
建設業・鉱業	5%	6%	12%	11%	12%	11%	10%	11%	10%	10%	10%
農林水産業	8%	8%	11%	8%	11%	11%	10%	10%	8%	8%	9%
業務その他部門	22%	19%	20%	19%	20%	22%	27%	28%	23%	23%	23%

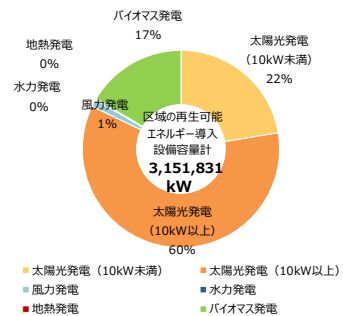
区域のCO₂排出量（産業・業務部門）は、「④CO₂排出量の現状把握」と同様の数値を用いています。特定事業所のカバー率（（特定事業所の温室効果ガス排出量）/（区域の産業・業務部門のエネルギー起源CO₂排出量））※特定事業所のカバー率は、推計精度の問題により、地方公共団体の区域全体の排出量を超える可能性があります。特定事業所排出量の比率が100%を超える場合は、カバー率を100%と表記しています。

3 全国の1事業所当たりの排出傾向との比較 ※排出量は全ての温室効果ガス種を含む合計値です。Nは特定事業所数を示します。

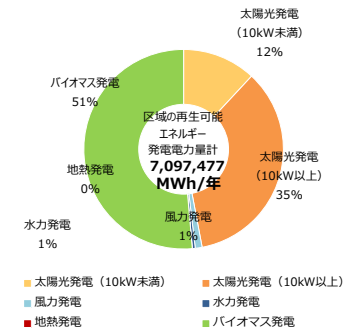


1 地方公共団体のFIT・FIP制度による再生可能エネルギー（電気）※1

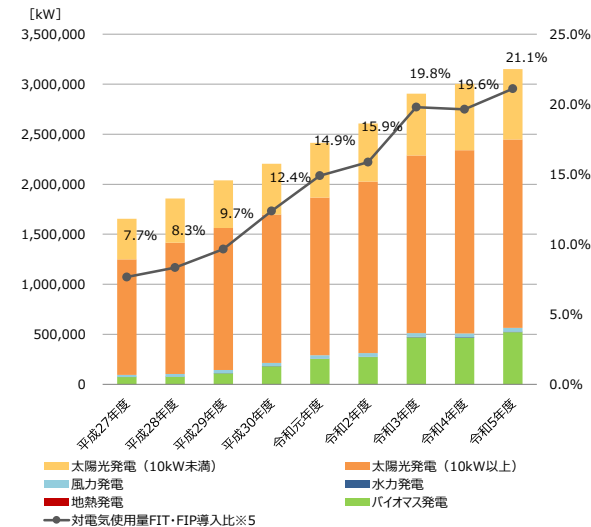
1) 区域の再生可能エネルギーの導入設備容量（令和5年度）



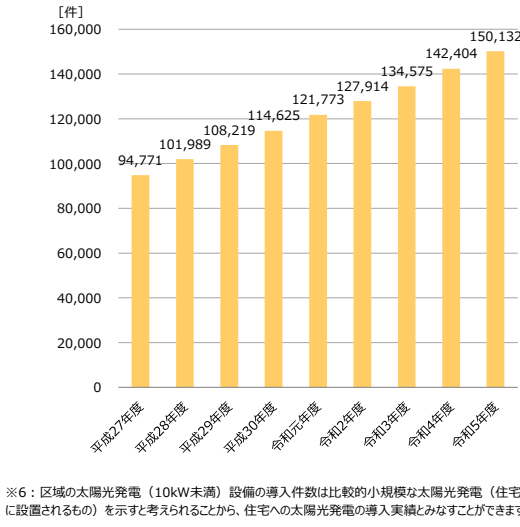
2) 区域の再生可能エネルギーによる発電電力量（令和5年度）



3) 区域の再生可能エネルギーの導入設備容量の推移（累積）



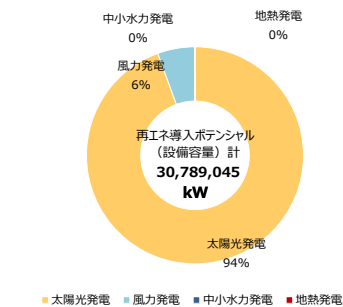
4) 区域の太陽光発電（10kW未満※6）設備の導入件数の推移（累積）



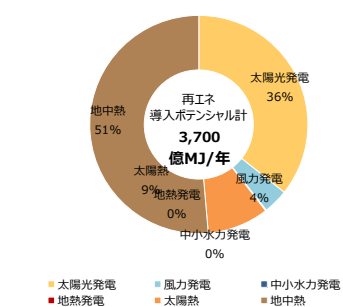
※6：区域の太陽光発電（10kW未満）設備の導入件数は比較的小規模な太陽光発電（住宅等に設置されるもの）を示すと考えられることから、住宅への太陽光発電の導入実績とみなすことができます。

2 地方公共団体の再生可能エネルギーの導入ポテンシャル※7

5) 導入ポテンシャル（電気のみ・設備容量）



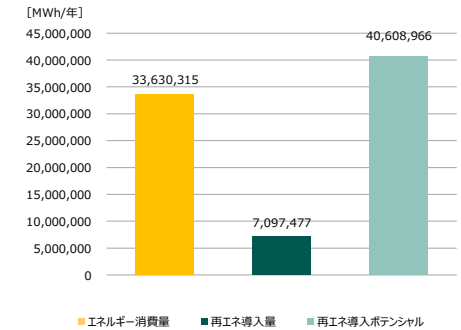
6) 導入ポテンシャル（発電電力量・利用可能熱量）



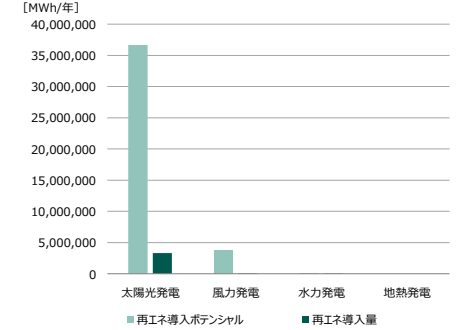
REPOS上に掲載されている再生可能エネルギーの導入ポテンシャルとは、設置可能面積、平均風速、河川流量等から理論的に算出することができエネルギー資源量（賦存量）のうち、法令、土地用途などによる制約（国立公園、土地の傾斜、居住地からの距離等）があるものを除いたエネルギー資源量です。あくまで一定の仮定を置いた上での推計値であることから、実際に導入可能な設備容量や発電電力量とは一致しません。目安として御活用ください。

3 区域のエネルギー消費量及び再生可能エネルギー導入ポテンシャル・導入量の比較（電気）

7) 区域内のエネルギー消費量に対する再生エネルギー導入ポテンシャル（電気）



8) 区域内の再生エネルギー導入ポテンシャルと再生エネルギー導入量（電気）



区域のエネルギー消費量と再生エネルギー導入ポテンシャル（電気）					
対電気使用量FIT・FIP導入比（再生エネルギー給率）	21.1%				
対電気使用量再生エネルギー導入ポテンシャル比※9	120.8%				
再生エネルギー余剰量[MWh/年]※10	6,978,651				
		太陽光発電	再生エネルギー導入ポテンシャル [MWh/年]	再生エネルギー導入量 [MWh/年]	再生エネルギーポテンシャルに占める導入割合
		太陽光発電	36,671,240	3,337,710	9.1%
		風力発電	3,808,777	78,879	2.1%
		水力発電	128,946	33,646	26.1%
		地熱発電	4	0	0.0%

※9：（再生エネルギー導入ポテンシャル） / （電気使用量）により算出します。

※10：電気使用量 > 再生エネルギー導入ポテンシャルの場合は「再生エネルギー不足量[MWh/年]」、電気使用量 < 再生エネルギー導入ポテンシャルの場合は「再生エネルギー余剰量[MWh/年]」を示します。

	設備容量 [kW]	発電電力量 [MWh/年]	導入ポテンシャル [億MJ/年]
太陽光発電	29,073,261	36,671,240	1,320
建物系	15,838,099	19,847,841	715
土地系	13,235,162	16,823,399	606
風力発電	1,695,400	3,808,777	137
中小水力発電	20,384	128,946	5
河川	15,894	91,561	3
農業用水路	4,490	37,385	1
地熱発電	0	4	0
蒸気フラッシュ発電	0	0	0
バイナリー発電	0	0	0
低温バイナリー発電	0	4	0
太陽熱	-	-	337
地中熱	-	-	1,901
再生可能エネルギー合計	30,789,045	40,608,966	3,700

※7：最新の数値や算定方法、再生エネルギー導入ポテンシャルの定義は、REPOSのHPを御参照ください。
<https://www.renewable-energy-potential.env.go.jp/RenewableEnergy/>

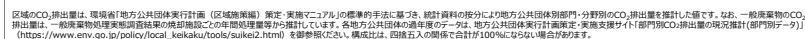
参考）再生エネルギー導入ポテンシャルと再生エネルギー導入量の集計対象の整理※8

	再生エネルギー導入ポテンシャル	再生エネルギー導入量
データ出所	REPOS（ポテンシャル情報）	再生エネルギー特措法 情報公表用ウェブサイト（全国・都道府県はA表、市町村はB表）
太陽光発電	太陽光発電（建物系・土地系）	太陽光発電（10kW未満・10kW以上）
風力発電	風力発電（陸上）	風力発電（20kW未満・20kW以上のうち洋上風力を除く）
水力発電	中小水力発電（河川・農業用水路）	水力発電
地熱発電	蒸気フラッシュ発電、バイナリー発電、低温バイナリー発電	地熱発電

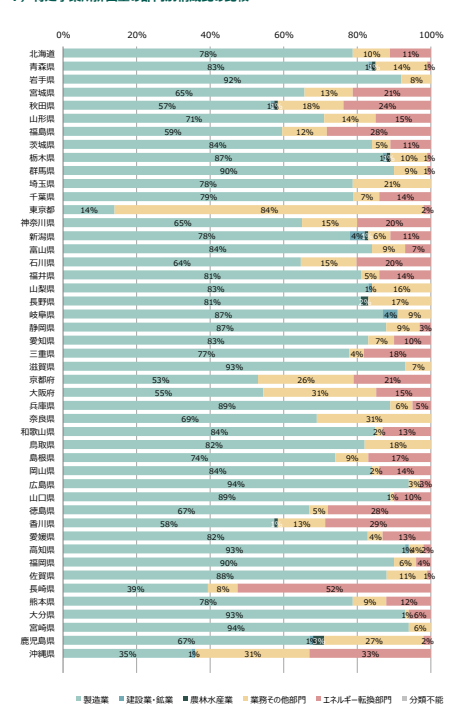
※8：再生エネルギー導入ポテンシャルと再生エネルギー導入量のデータは、集計対象範囲や数値の算出方法が異なるため、あくまで目安として御活用ください。

2 区域の排出量に占める特定事業所排出量比率の比較（令和3年度（2021年度））

2) 部門・分野別CO₂排出量構成比の比較



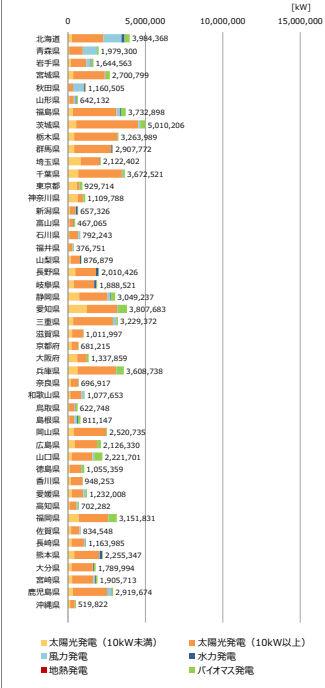
6) 特定事業所数の比較



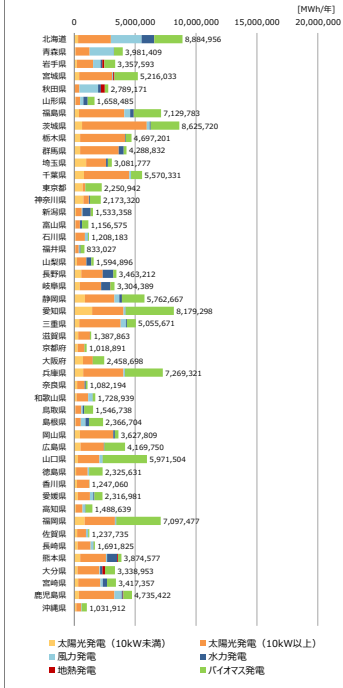
自治体排入量比較 他地方公共団体との比較（再エネ導入量・再エネポテンシャル）

1 再エネ導入量の比較（令和5年度（2023年度））

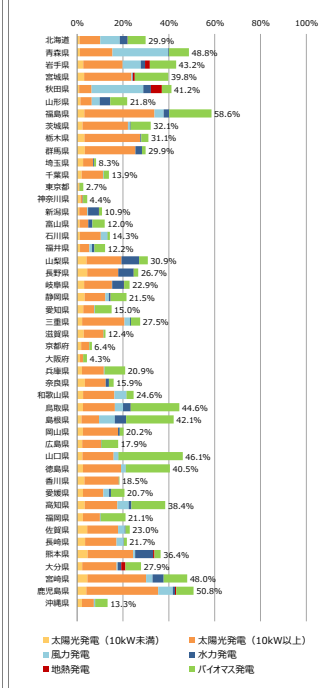
1) 他地方公共団体との再エネ別導入設備容量の比較



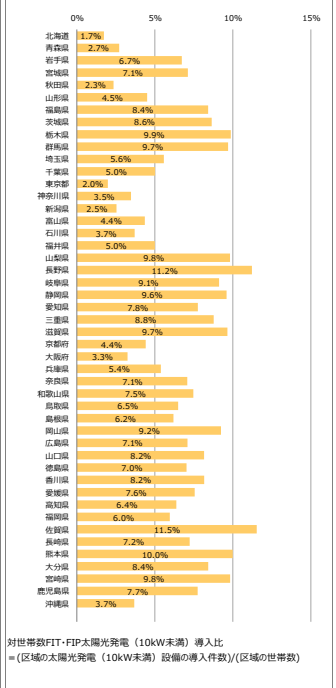
2) 他地方公共団体との再エネ別発電電力量の比較



3) 他地方公共団体との対電気使用量FIT・FIP導入比の比較



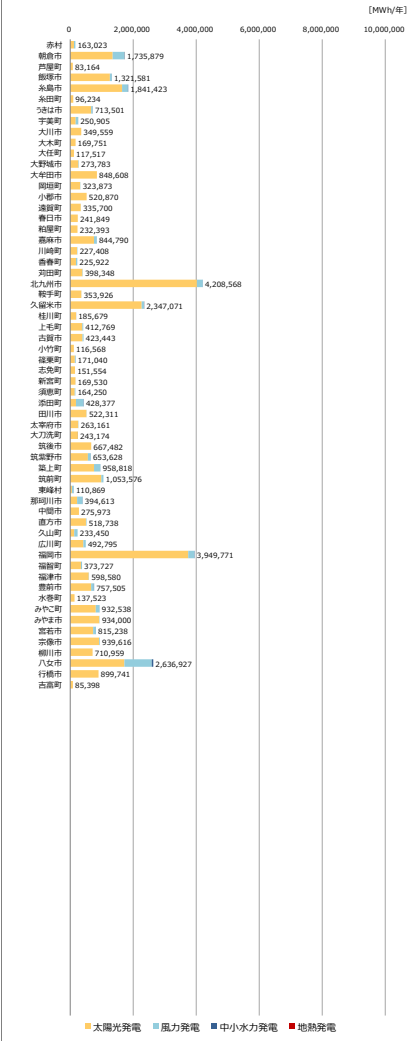
4) 対世帯数FIT・FIP太陽光発電（10kW未満）導入比の比較



対世帯数FIT・FIP太陽光発電（10kW未満）導入比
= (区域の太陽光発電（10kW未満）設備の導入件数)/(区域の世帯数)

2 再エネ導入ポテンシャルの比較

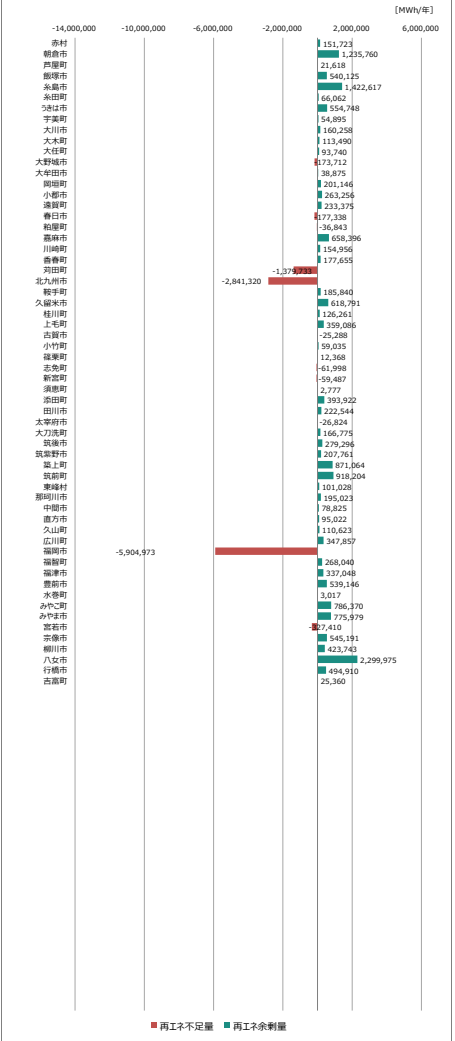
5) 同一都道府県内における他の地方公共団体の再エネポテンシャル（発電電力量）の比較



6) 同一都道府県内における他の地方公共団体の電気使用量の比較



7) 同一都道府県内他の地方公共団体の再エネ不足量・余剰量の比較



特定事業所集計表
福岡県

日本標準産業分類 (平成25年10月改定) (平成26年4月1日施行)			特定事業所数 [箇所]													特定事業所排出量 [千t-CO ₂]												
大分類	中分類	細分類	特定事業所数 [箇所]													特定事業所排出量 [千t-CO ₂]												
			平成23年度 (2011年度)	平成24年度 (2012年度)	平成25年度 (2013年度)	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)	令和11年度 (2029年度)	令和12年度 (2030年度)						
A 農林業	01 農林業		481	490	499	484	490	501	507	496	497	493	491	25,820	27,967	30,272	31,204	31,185	29,088	29,332	29,123	27,353	24,947	25,767				
	02 畜産業		5	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4	28	30	40	40	29	41	36	34	31	25	27				
	03 水産業		3	2	4	4	4	4	4	3	3	3	3	27	27	43	44	41	37	36	32	29	30	33				
	04 農林水産業		242	248	259	259	258	266	270	266	270	268	275	22,745	24,815	26,990	28,015	28,118	26,205	26,399	26,329	24,854	22,468	23,310				
B 製造業	10 製造業		212	217	215	197	205	209	212	205	200	199	191	2,042	1,985	2,087	1,930	1,916	1,751	1,956	1,891	1,587	1,576	1,487				
	11 金属工業		17	17	15	18	17	17	16	17	19	18	18	972	1,107	1,105	1,181	1,063	1,055	904	835	852	842	911				
	12 化学工業		2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	6	4	6	6	6	7	5	4	6	6	4				
	13 窯業、土石業		5	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4	28	30	40	29	41	36	34	31	25	27	27				
C 建設業	20 建設業		3	2	4	4	4	4	4	3	3	3	3	27	27	43	44	41	37	36	32	29	30	33				
	21 土木建築業		3	2	4	4	4	4	4	3	3	3	3	27	27	43	44	41	37	36	32	29	30	33				
	22 電気・ガス・熱供給・水道業		3	2	4	4	4	4	4	3	3	3	3	27	27	43	44	41	37	36	32	29	30	33				
	23 電気・ガス・熱供給・水道業		3	2	4	4	4	4	4	3	3	3	3	27	27	43	44	41	37	36	32	29	30	33				
D 卸売・小売業	30 卸売・小売業		243	249	260	260	259	267	271	267	272	269	276	23,050	25,148	27,328	28,358	28,468	26,549	26,756	26,714	25,239	22,847	23,678				
	31 食品・飲料・繊維製品製造業		40	41	40	40	42	45	45	47	46	46	46	271	309	344	339	342	330	309	301	251	249	265				
	32 化学・石油製品製造業		9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	10	105	119	129	127	125	122	124	118	109	101	101				
	33 金属工業		1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	9	9	10	10	10	10	12	13	12	10	9				
E 電気・ガス・熱供給・水道業	40 電気・ガス・熱供給・水道業		1	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	11	19	21	23	21	20	18	17	13	11	10				
	41 電気・ガス・熱供給・水道業		7	6	6	6	6	6	6	6	7	7	7	104	108	119	114	111	99	94	89	81	80	80				
	42 電気・ガス・熱供給・水道業		7	11	10	9	10	11	11	11	11	10	10	46	84	101	93	98	91	84	81	66	66	67				
	43 電気・ガス・熱供給・水道業		25	25	27	27	27	25	28	27	27	27	27	1,735	1,892	1,979	2,018	1,902	2,145	2,072	1,769	1,568	1,637	1,637				
F 電気・ガス・熱供給・水道業	44 電気・ガス・熱供給・水道業		10	10	13	13	12	13	12	10	12	8	11	540	567	577	581	603	583	598	624	621	615	597				
	45 電気・ガス・熱供給・水道業		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	305	333	338	344	350	344	358	386	385	379	369				
	46 電気・ガス・熱供給・水道業		23	23	25	26	26	26	26	26	25	25	26	25	117	141	179	180	180	160	155	156	130	140				
	47 電気・ガス・熱供給・水道業		6	6	6	6	6	6	6	6	6	7	7	202	246	278	286	241	224	216	213	178	156	183				
G 情報通信業	50 情報通信業		21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	9,772	10,084	10,217	10,304	10,063	9,863	9,819	9,790	9,446	9,254	9,420				
	51 情報通信業		19	18	20	20	20	20	21	21	17	16	17	17	8,929	10,284	11,830	12,341	13,151	13,006	11,885	11,442	9,587	10,073				
	52 情報通信業		14	13	15	15	15	16	16	16	15	13	10	318	356	319	325	369	342	337	357	351	288	275				
	53 情報通信業		7	6	7	7	7	8	8	8	8	9	9	50	58	66	65	59	62	60	56	48	47	49				
H 運輸業、郵便業	60 運輸業、郵便業		3	3	3	3	4	4	4	5	5	5	4	5	49	50	54	54	56	52	54	52	39	34				
	61 運輸業、郵便業		7	8	8	8	8	6	7	6	6	6	7	70	78	94	97	86	84	76	76	61	61	69				
	62 運輸業、郵便業		11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4				
	63 運輸業、郵便業		15	14	15	15	15	13	13	13	13	13	14	300	236	409	421	365	296	198	217	150	147	178				
I 卸売業、小売業	70 卸売業、小売業		10	11	11	12	12	12	12	11	12	11	11	57	77	89	89	80	75	73	63	55	50	50				
	71 卸売業、小売業		17	18	19	19	17	15	19	19	22	23	24	24	360	446	504	477	478	487	467	524	411	400				
	72 卸売業、小売業		1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	4	5	9	8	7	7	7	7	5	5	4				
	73 卸売業、小売業		2	2	2	3	2	2	2	2	2	2	2	14	17	19	19	25	26	23	21	21	15	16				
J 金融業、保険業	80 金融業、保険業		2	2	2	3	2	2	2	2	2	2	2	14	17	19	19	25	26	23	21	21	15	16				
	81 金融業、保険業		8	8	6	8	8	8	8	8	8	8	8	6	8	8	9	9	8	7	7	5	6	7				
	82 金融業、保険業		17	15	16	16	16	17	16	16	16	16	16	129	181	192	183	170	150	141	135	109	103	102				
	83 金融業、保険業		19	18	16	16	17	17	16	16	16	17	15	122	138	157	167	171	152	131	125	96	109	103				
K 不動産業、物品賃貸業	90 不動産業、物品賃貸業		13	12	10	10	11	12	12	12	13	12	10	10	14	115	132	143	148	135	119	114	87	100				
	91 不動産業、物品賃貸業		4	4	4	4	4	3	2	2	2	2	1	10	13	14	14	13	9	5	5	4	4	2				
	92 不動産業、物品賃貸業		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1				
	93 不動産業、物品賃貸業		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1				
L 学術研究、専門・技術サービス業	01 学術研究、専門・技術サービス業		5	9	10	10	9	9	9	10	11	11	11	18	36	46	46	38	35	32	33	39	39	41				
	02 学術研究、専門・技術サービス業		42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42				
	03 学術研究、専門・技術サービス業		43	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43				
	04 学術研究、専門・技術サービス業		44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44				
M 宿泊業、飲食サービス業	10 宿泊業、飲食サービス業		39	41	38	40	35	36	35	34	32	28	26	154	207	219	215	185	170	157	141	99	82	86				
	11 宿泊業、飲食サービス業		51	51	51	51	51	51	51	51	51	51	51	51	51	51	51	51	51	51	51	51	51	51				
	12 宿泊業、飲食サービス業		52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52				
	13 宿泊業、飲食サービス業		53	53	53	53	53	53	53	53	53	53	53	53	53	53	53	53	53	53	53	53	53	53				
N 生活関連サービス業、娯楽業	20 生活関連サービス業、娯楽業		38	41	38	39	34	35	34	33	31	27	25	151	207	219	210	180	165	148	132	91	78	82				
	21 生活関連サービス業、娯楽業		39	41	38	39	34	35	34	33	31	27	25	151	207	219	210	180	165	148	132	91	78	82				
	22 生活関連サービス業、娯楽業		40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40				
	23 生活関連サービス業、娯楽業		41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41				
O 教育、学習支援業	30 教育、学習支援業		14	14	14	15	14	14	14	13	13	14	14	171	205	237	231	219	200	185	172	151	138	155				
	31 教育、学習支援業		15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15				
	32 教育、学習支援業		16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16				
	33 教育、学習支援業		17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17				
P 医療、福祉	40 医療、福祉		26	28	30	31	31	33	34	33	32	32	32	116	152	177	190	183	176	159	156	124	130	136				
	41 医療、福祉		27	29	31	32	32	34	35	34	33	32	32	116	152	177	190	183	176	159	156	124	130	136				
	42 医療、福祉		28	30	32	33	33	35	36	35	34	33	33	116	152	177	190	183	176	159	156	124	130	136				
	43 医療、福祉		29	31	33	34	34	36	37	36	35	34	34	116	152	177	190	183	176	159	156	124	130	136				
Q 複合サービス産業	50 複合サービス産業		25	26	27	28	28	30	31	30	29	28	28	116	152	177	190	183	176	159	156	124	130					

部門と日本標準産業分類との対応は以下のとおりです。

- ・製造業：E製造業(エネルギー転換部門の細分除く)
- ・建設業：C鉱業、採石業、砂利採取業、D建設業
- ・農林水産業：A農業、林業、B漁業
- ・その他の部門：F電気・ガス・熱供給・水道業～Sサービス(エネルギー転換部門の細分除く)

エネルギー転換部門：E製造業の1711：石油精製業、1731：コークス製造業、F電気・ガス・熱供給・水道業の3311：発電所、3312：変電所、3411：ガス製造工場、3511：熱供給業

中分類（17、33、34、35）はエネルギー転換部門を含んでいます。（エネルギー転換部門の細分コード分は内訳表示のみ）

大分類（E：9～32の合計）（F：33～36の合計）はエネルギー転換部門を含んでいます。（エネルギー転換部門の細分コード分は内訳表示のみ。）